

6 野々市産の活気あふれるまち【産業振興】

政策6：野々市産の活気あふれるまち

施策1：商工業の活性化

1：地域資源を活かした産業の活性化

重点プロジェクト

Ⅱ-B 関連施策

基本方針

人、モノ、情報、知識、技術といった地域固有の特色ある資源を掘り起こし、活用することにより、地域経済の担い手である中小企業の事業活動を促進し、地域産業の活性化を図ります。

県産業創出支援機構や中小企業基盤整備機構など支援機関をはじめ、大学などの研究機関との連携や異業種交流^{※4}などにより、地域の産物を活かした商品開発、特産品の販路拡大など、農商工の連携・活性化を推進します。

施策をとりまく環境

本市においては、都市基盤整備の進展により、大型店をはじめ、新たな商業施設の進出が進む一方で、既存の商店数や企業、従業員数は減少傾向にあります。

このような現状を踏まえ、大学が立地する本市の強みを活かした産学官^{※31}や農商工の連携による地域産業の活性化が求められています。

さらに、地域の特色ある資源の掘り起こしと大学などの研究機関や産業間の連携をコーディネート^{※23}する体制づくりが必要です。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
年間商品販売額	億円	2,662	2,760	販売額増加による地場産業の活性化
特産品数	品	11	20	地域資源活用の増加

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画						
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
産学連携への支援														
商工業の振興														
若手経営者・管理者の養成														

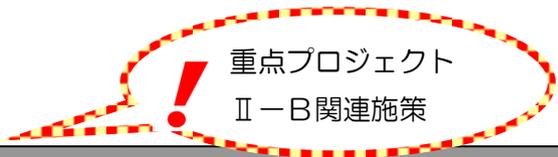
市民協働への取り組み

市内にある団体や大学などとの連携する組織づくりにより、新たな地域資源の発掘に努めるとともに、市民参加、参画^{※30}による地域資源の発掘や周知を促します。

政策6：野々市産の活気あふれるまち

施策1：商工業の活性化

2：経営体質、基盤の強化と起業化支援



基本方針

事業者のニーズに合わせた情報提供や相談体制の充実を図るとともに、県や商工会などと連携しながら企業の経営改善を支援します。

経営の安定化、近代化を図るため、融資制度の充実を図るとともに、国や県の融資制度や支援機関などの情報提供や、いしかわ大学連携インキュベータ^{※6} (i-BIRD)を中心とした産学官^{※31}連携による起業化支援に努めます。

さらに、魅力ある商店街づくりや次世代リーダーの育成を支援するとともに、企業の新規分野への進出や起業化支援を推進します。

施策をとりまく環境

経済変動の激しい中、魅力ある商店・商店街を育成し地域経済の活性化を図ることが必要ですが、後継者の確保が難しいといった商店経営の問題や空き店舗の増加、商店街活動の低迷などの課題があります。

また、制度融資をはじめとした中小企業への金融支援、経営改善への支援の拡充、中小企業が新製品や新技術開発に取り組みやすい環境を整えることが求められています。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
市融資（設備投資）制度利用件数	件	4	12	経営体質・基盤の強化
新製品・販路開拓補助金交付件数	件	3	10	経営体質・基盤の強化
インキュベータ入居企業支援件数	件	9	20	市内での起業を促進

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画						
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
商工業融資制度による支援														
新製品開発・販路開拓の支援														
インキュベーション ^{※5} 施設の支援														

市民協働への取り組み

中小企業に対する経営の安定を促すため、融資制度による支援を行うとともに、企業の自助努力による経営手法の刷新や人材育成を促します。

政策6：野々市産の活気あふれるまち

施策1：商工業の活性化

3：北陸新幹線開業に伴う商工業の活性化

重点プロジェクト

Ⅱ-B関連施策

基本方針

北陸新幹線開業により、多くの来県者が期待できる中、さまざまな分野においてビジネスチャンスが生まれる絶好の機会が訪れます。

地場製品のブランド化と販路拡大など市場創出に取り組むとともに、ひとつの商品やひとつのサービスの開発と発掘を通して、各事業所や個店が意識高揚を図りながら活力を持つことのできる活動を推進します。

また、首都圏などで活躍の野々市ゆかりの人材を産業振興アドバイザーとして登録し、特産品開発、企業誘致などで助言を求めることにより、地元商工業の活性化を目指します。

施策をとりまく環境

市民が地域に愛着を持ち、来訪者が魅力を感じることでできる特色あるまちづくりにつながる商業、サービス業の振興を進めていく必要があります。

また、他県や他市町の方々が、本市に興味を持ってもらうことのできるよう、広報活動を強化する必要があります。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
野々市認定ブランド商品数	数	—	10	地域資源増加によるまちの魅力向上

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
野々市ブランド商品の創出支援													
首都圏等での物産展の開催													

市民協働への取り組み

市民と行政、市民同士の協働^{*16}によって、新たな野々市ブランド商品を創り出し、また、地域が発信する商品の開発と販売を通じて、野々市の持つ魅力の広報活動を図ります。

政策6：野々市産の活気あふれるまち

施策2：農業の活性化

1：魅力ある農産物の生産と地産地消の推進

重点プロジェクト

Ⅲ-A 関連施策

基本方針

農作物の生産振興と産地化の促進や新たな特産物の生産、広報活動を推進し、地域農業の活性化を図ります。

また、食の安全安心に対する消費者の関心が高まる中、地場農産物^{※32}の利用拡大、安定した生産力の確保のため、作付け面積の拡大を進めます。

これらを推進するために、学校給食への地場農産物の使用回数の増加や、農産物販売を行う生産者団体への支援強化、イベント参加による広報活動などを行い、地域生産、地域消費を推進します。

施策をとりまく環境

生産者の高齢化、担い手不足や農地の減少など農業生産を取りまく環境の悪化を背景に、キウイフルーツをはじめとする農産物の生産が減少しており、新たな地域振興作物の生産や加工品による付加価値を高めた新たな特産品を奨励し、生産者が意欲的に取り組める環境整備が必要です。

また、近年の、食の安全に対する関心の高まりを背景として、地場農産物の地産地消^{※44}や都市型近郊農業^{※54}の推進に向けた取り組みの充実が求められており、生産者が効率的で安定的な農産物の供給体制を整えるとともに、高品質な農産物の生産や販売に取り組むことができる環境と仕組みを整えることが必要です。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
地域特産物作付け面積	a	20	30	特産物ヤーコン作付け面積増加による地域農業の活性化
生産者団体による直売回数	回	63	66	地産地消の推進
イベント参加による周知回数	回	0	3	地産地消の推進

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
地域特産加工品の普及促進													
特産物の振興													
農業者戸別所得補償制度の推進													
農業振興への対策													
農業フェスティバルへの助成													

市民協働への取り組み

地域振興に寄与する農作物の生産を促し、その農作物に付加価値を加え、野々市ブランド農作物として、野々市の持つ魅力の広報活動を図ります。

また、地場農産物を通じた生産者と市民の交流や学校給食の献立として私用するなどを通じ、地域生産、地域消費の考え方を浸透します。

政策 6：野々市産の活気あふれるまち

施策 2：農業の活性化

2：各種関係団体との連携による農業振興

基本方針

生産団体や担い手の育成、農作業の効率化に向けた取り組みを効果的に行うため、農業協同組合をはじめとする関係団体と連携し、総合的な支援を充実し、本市の農業振興を図ります。

担い手への農用地利用集積の推進や、遊休農地^{※72}を活用した市民農園^{※33}の利用拡充などにより、優良農地の保全を行うとともに、農道や水路などの適正な維持管理に努め、より良い耕作環境を守り、農業生産の基盤強化を図ります。

また、地域の方々や学校などと連携し、食や環境のことを考える農業体験や、農業とのふれあいイベントなどを通じて、将来を担う子ども達に食の大切さや農業への関心を高めることを進めます。

施策をとりまく環境

農業を取り巻く環境は、都市化の進展や産業構造の変化とともに、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、農家人口、農地面積が減少し、農地の遊休化が懸念されています。

また、担い手への農用地利用集積による農業生産の効率化が求められています。

農業者の高齢化や農作物価格の低迷から生じる新しい就農者の不足などの課題への取り組みに対しては、農業を振興する関係団体との連携強化が必要です。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
各関係団体との振興会議の回数	回	0	4	農業振興に関する会議により農業の充実
農用地の利用集積面積	ha	60.4	62.9	農用地の利用増加による農業振興
認定農業者 ^{※61} の人数	人	6	8	市が認定した農業者増加による農業振興
市民（体験）農園の面積	ha	1.6	1.7	新たな担い手の育成による農業への理解向上

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
営農活性化の推進													
中核農家 ^{※46} の育成													
農業経営基盤の強化促進													
農業基盤の活性化													

市民協働への取り組み

市民が体験することのできる農園などへ参加や、農業を振興する団体との連携強化、振興会議などを通じ、農業への知識を高め参画^{※30}意欲を促し、農業の担い手不足を解消します。

政策 6 : 野々市産の活気あふれるまち
施策 3 : 勤労者福祉の充実
1 : 就労環境の推進と余暇活動の支援



基本方針

勤労者が安心して働き、豊かな生活を送ることのできる環境をつくるため、国や県と連携した就業機会の拡充と雇用の確保と勤労者の福利厚生の実施に努めます。

若年者や中高年齢者、障害のある方の雇用支援、勤労者の住宅取得支援、生活資金融資利子補給などの各種助成制度を活用し、安定的に働くことのできる環境整備のための支援を推進します。

また、文化活動やスポーツやレクリエーション活動への参加の機会づくりに取り組むとともに、勤労者福祉団体の育成に努めます。

施策をとりまく環境

少子高齢化の進行に伴い、労働力人口の減少が懸念されるとともに、景気の低迷による雇用情勢の悪化が課題となっています。

市民が安心して安定した生活を送るため、若年者や中高年齢者、障害のある方など、誰もが働きやすい環境づくりと就業機会の拡大が必要です。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
有効求人倍率 ^{*71}	倍	0.57	1.0	求人の増加による雇用の確保
雇用増進奨励金の交付件数	件/年	14	20	雇用の増加
勤労者住宅取得支援の件数	件/年	68	95	安心して生活する市民の増加

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
雇用増進奨励金の交付													
勤労者支援のための各種助成制度													

市民協働への取り組み

ハローワーク（職業安定所）などと連携し、就業に関する情報の提供に努め、文化やスポーツに関する勤労者の余暇活動への参加を促すとともに、元気で働くことのできる環境づくりを促します。

政策6：野々市産の活気あふれるまち

施策4：観光資源の発掘

1：ののいちの魅力創造と発信

重点プロジェクト

Ⅱ-A/Ⅲ-A関連施策

基本方針

市民、企業、さまざまな団体、行政などが共に力を合わせて、まち全体で新たな魅力を生み出すため、本市の自然や歴史、文化に触れながら、本市特産品による郷土料理や創作料理を味わい、見て、体験して、感じられるまちを創ることを推進します。

また、観光物産協会の設立を目指すとともに、観光などに携わる団体などと連携して、本市の魅力を再発見する取り組みをはじめ、テレビや映画のロケーション誘致などの活動を通じて、広く本市の魅力の発信を推進します。

施策をとりまく環境

本市の地域資源を有効に活用し、新たな魅力を発掘することにより、野々市の魅力を市内外に発信することが求められています。

また、市民に親しみのあるまちづくりを進めるうえで、市のオリジナルキャラクター”のっティ”を効果的に活用するとともに、本市を出身地とする各界著名人の力をお借りすることも必要です。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
観光ボランティアガイドの人数	人	—	25	本市の魅力向上
観光ボランティアガイド活動件数	件	—	20	本市の魅力向上
観光物産協会の設立数	数	なし	設立	本市の魅力向上

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
観光ボランティアガイドの養成													
観光ボランティアガイド団体への支援													
観光、地域資源の宣伝活動													

市民協働への取り組み

観光ルートの整備や観光ボランティアガイドの育成、ガイド団体への支援とともに、本市の魅力づくりのための活動への参加や参画^{*30}を促します。

政策 6 : 野々市産の活気あふれるまち

施策 4 : 観光資源の発掘

2 : 賑わいの創出と交流人口の拡大

重点プロジェクト

Ⅱ-A 関連施策

基本方針

毎年8月に開催する”野々市じょんからまつり”は、県内有数のまつりとして定着しました。催し物の内容充実と、市内外への広報を強化し、まちなかでの賑わい創出と交流人口の拡大に努めます。

また、地域のさまざまな資源を活用し、市民が主体的に企画や運営を行う地域活性化に発展する催し物への支援を図ります。

市内外から多くの観光客を呼び、賑わいの創出を図るとともに、市民の地域への誇りと愛着が根づくまちを目指します。

施策をとりまく環境

市民参加型のまつりとして親しまれている”野々市じょんからまつり”は、本市の観光の中心として、更なる内容の充実が求められています。

また、地域の連帯感の強化や活性化に向けて、おどりの講習会を継続するとともに、市民自らがそれぞれの地域行事の復活や新たな催し物の実施などに取り組むことが求められています。

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	指標の説明
野々市じょんからまつり来場者数	人	30,000	32,000	本市のにぎわい向上

施策を実現する手段

事業名	年度	前期基本計画						後期基本計画					
		23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
野々市じょんからまつりの開催													
野々市じょんからおどりの普及活動													

市民協働への取り組み

市民の野々市じょんからまつりへの参加はもとより、市民自らが企画、運営する催し物への支援を行うとともに、それぞれの地域で行われる伝統行事や地域行事にも積極的に市民が参加、参画^{※30}しやすい機運を育みます。